

校内の教師同士による対話を通して、自校の指導ツールの改良を図る本コーナー。
今号は、福岡県立東筑高校の2年生が3月の二者面談前に記入する
学年振り返りシートについて検討した。

福岡県立東筑高校

◎「文武両道」「質実剛健」を校是として、グローバル社会をリードする卓越した人材の育成を目指す。部活動も盛んで、野球部は甲子園大会春夏計9回出場、ラグビー部は全国大会に計4回出場、ボート部は国体18回出場を誇る県内有数の強豪である。

◎設立 1898 (明治 31) 年

◎形態 全日制 / 普通科 / 共学

◎生徒数 1学年約 280 人

◎2020 年度入試合格実績 (現役のみ) 国公立大は、東京大、京都大、大阪大、九州大などに183人が合格。私立大は、慶應義塾大、中央大、東京理科大、早稲田大、同志社大などに延べ264人が合格。

◎ URL

http://tochiku.fku.ed.jp/



キャリア教育部情報班主任
安部弘敏 あべ・ひろとし
教職歴9年。同校に赴任して7年目。



キャリア教育部進路指導班
阿部啓 あべ・けい
教職歴13年。同校に赴任して7年目。



主幹教諭・教務主任・教育推進部長
辻本貢士 つじもと・なおと
教職歴23年。同校に赴任して12年目。
2016年から4回、本コーナーに登場している。

改良会議実施校

福岡県立
東筑高校



〇〇第 2年〇組 学年振り返りシート

氏名 ()

1. 個人情報の確認 (あなたたちの1年間の実績を記録しておく)

(1) 自分の性格 (長所、どんな人なのか) 自分で思う自分について自信を持って詳細に記入してください。

(2) 部活動 () 部名
実績・活動内容 (正式な大会、実演白熱、成績など詳細に記入すること)・頑張ったこと。

(3) クラス役員 () 委員長 (何) (どんな活動をしたように頑張ったか)

(4) 生徒会活動 () (〇〇委員会どう頑張ったか、やってほしいこと記入)

(5) 課題研究 () 班
・テーマ
(どんなことに取り組んだか、どんな力が出たか、どんな力が出たか、立派な資料を提出)

(6) 学年の1年の間にやった目標
(達成した目標、立派な結果など詳細に記入すること)

(7) 持っている資格 (英語、数学、その他の資格、漢語、ピアノ等も資格が取得できたら記入する)
(取得した目標、資格の正式名称など記入すること)

(8) 参加したイベント () (実施時期、内容、感想など) 全学校の外観を記入する。

(9) その他参加した活動
(各種体験活動、遠征イベント、むらさきの学校祭など) 写真等添えて参加したものはすべて記入する
どんな力が身についたか、どのような変化があったか必ず詳細に記入すること。

II. 2年生として過ごしたこの1年を振り返って。

(1) この1年で頑張ったこと、(何をどのように頑張ったか、どんな力が出たか) (得意なこと)

(2) うまくなったこと、反省、今後の目標など。

III. 3年生としての1年生を振り返って。

(1) どんな1年だったかですが、目標など具体的に詳細に記入してください。

(2) 3年生に向けて、悩んでいること、不安に思っていること、お願ひすること。

IV. 自由記入欄 (いろいろ書いてください)

Before

A4サイズ2枚のシートは、2年生の1年間で生徒が取り組んできたことを尋ねる部分が大半を占めている。春季休業に取り組みたいことや、3年生への進級に向けて課題だと考えていることなどを記入するスペースは、全体の3割程度にとどまっていた。

課題

- 1 3年生への進級を前に現在の自分の課題を考えさせ、春季休業に取り組む具体的なアクションを担任と共有させたい。
- 2 活動内容の振り返りが、事実関係の整理だけにとどまりがちであるため、その活動を通じてどんな力が身についたのかまでを生徒に記述させたい。

ねらい

2年次3月に行われる担任との二者面談の前に、本シートへの記入を通じて、1年間を振り返り、充実した春季休業の過ごし方を考えさせる。また、指導要録作成のために、生徒が取り組んできた活動を担任が整理、把握することもねらいの1つ。

2年生 学年振り返りシート

After

改良ポイント

- ① 具体的なアクションへと結びつけるために、春季休業や3年生進級直後など進路指導上も重要な節目における目標を設定させる。
- ② 重点的に振り返りたい項目を生徒自身に選ばせて、頑張ってきたことや身についた力を詳述させる。



2年生 学年振り返りシート 組 _____ 番 _____ 氏名 _____

I. 1年間の実績を記録しておこう

①自分の性格(長所、どんな人物か) 自分が思う自分自身について自信を持って詳細に記入してください。

②部活動 () 部の活動内容・実績 ※正式な大会名、実施日時、成績などを詳細に記入すること

③クラス役員 () 委員(係)の活動内容・実績

④生徒会活動 () 委員の活動内容・実績

⑤2学年の1年間に新たに取得した資格 ※正式な資格名、取得した日時などを詳細に記入すること

⑥持っている資格 ※柔道、剣道、その他の段や級、書道、ピアノなども正式な資格名、取得日時を記入すること

⑦参加したボランティア(参加時期、内容など) ※学校内外問わず記入すること

⑧各種体験活動、進路イベント、ひびきの学問探究など、参加した活動 ※希望して参加したものはすべて記入すること

⑨上記②から⑧で特に頑張ったことを1つ選んで詳しく書いてください

⑩課題研究 () 班 テーマ ()

II. 3年生としての1年を見据えて

①どんな1年にしたいですか。目標など、具体的に詳細に記入してください。

②3年生に向けて、悩みや不安、心配事、決意や期待などを記入してください。

III. 春休みのく _____ 大学 _____ 学部

過去問題挑戦に向けての学習ポイント

IV. 3年生 総合学力記述模試・7月までにクリアしたい課題や目標

2年生3月末までに	3年生4月末までに	3年生6月末までに
-----------	-----------	-----------

シートの右半分では、3年生への進級を前にした自身の課題と今後取り組むべきことを書かせる。春季休業に挑戦する志望大学の過去問題や、3年生7月模試など、同校教師が進路指導上重視していることも、今後自分が取り組むべきことを具体的に考えやすくするために盛り込んだ。

1年間の活動の記録はシートの左半分に収める。頑張ったこと、身についた力を書く項目は生徒自身に選択させる。

どのような対話を
通じて改良できたのかは、
次ページで!!



少々あらが目立とうと、3年生への進級に向けて自分なりの見通しやプランを持って面談に臨む生徒の方が、私たちは多角的な視点からのアドバイスがしやすいものです。2年次3学期以降の節目となる進路行事を意識させることで、生徒がより具体的なアクションを考えやすい改訂ができたと思います。



先生方との対話を通じて、ツールのねらいが今まで以上に整理できました。私は特に、クラスの中で生徒がこの1年間どのような成長をしてきたかを言語化させたいので、例えば、「学校行事の中でクラスの一員として頑張ったこと」を記入させるなど、さらにシートをアレンジしてみようと思いました。



学年全体で使うツールは、学年団で1つのひな型を作った上で、各担任がクラスの実情に合わせてアレンジを加えていくのがよいと思います。そうした気持ちを教師一人ひとりが今以上にしっかりと持つことで、チームとしての強みと担任の個性の両方を生かせるのだと、改良会議を通じて実感しました。



このマークのある図版は、加工可能なデータとして、ベネッセ教育総合研究所のウェブサイト (<https://berd.benesse.jp>) からダウンロードできます。「HOME → 教育情報 → 高校向け → 生徒指導・進路指導ツール集」をご覧ください。

実録

改良会議

先生方の
対話のダイジェスト進路指導上の重要な節目を意識させ、
今後の具体的なアクションを
考えやすくする

具体的な行動を考えやすい問いかけにする

河野 改良会議に先立って、実際に生徒が記入したシートを拝見しましたが、どれもびっしりと書き込まれていました。先生方はどのような課題をお感じなんでしょうか。

安部 記入内容として、今後取り組むべきことの具体化に至っていないものが多いこと、これまでの活動の振り返りが、事実ベースの記述にとどまり、その活動を通じてどのような力が身についたのかを書けていないものが少なくない、という2点です。

阿部 生徒たちは真剣に考え、しっかりと記入してくれていますし、シートを基にした面談も生徒たちは楽しみにしていて、いつも時間が足りないくらいです。アウトプットする場を生徒は求めているのだなあと感じます。

辻本 本校の生徒は、自分の頑張りを教師に伝えたのだと思います。だから、面談でも生徒はよく話してくれます。面談期間中の部活動の時に、面談の後の気持ちを聞くと「面談をしてもらってやる気が出ました」と、多くの生徒が答えます。そのやる気

を具体的な行動にしっかりとつなげたいです。

河野 具体的な行動につながる振り返りとは、どのようなものですか。

安部 目標やプロセスを具体的に書けるかどうかのポイントになると思います。これまでは、それらを具体的に書いていない生徒に対しては、面談で聞くようにしていました。「数学を頑張る」といった程度にしか書いていない生徒も、面談で話す中で具体的な計画を立案することができますが、そこに至るまでにはある程度の時間を要してしまいます。

阿部 シートを通して具体的な行動計画を考えた状態で面談に臨ませて、面談でさらに深掘りしたいですね。シート上の問いを具体的な目標や取り組みたいことが答えやすいものにすれば、記入内容がこれまでとは違ってくるかもしれません。例えば、進路指導上私たちが重視している3年生7月の模擬試験をシートの中で意識させるのはどうでしょうか。

安部 本校では、2年生の春季休業中に、その時点での志望大学の過去問題に挑戦させます。3年生への進級前の生徒により影響を与えてきた伝統的な取り組みですから、それも目標設定させる項目として



改良会議ファシリテーター

VIEW21編集部
高次領域担当責任者
河野仙一
こうの・せんいち

「読者と編集部には申し訳ないが、とにかく自校の指導について語り合う時間にした」と開口一番、辻本先生。それは編集部としても本望です。指導ツールの改良に向けた検討の過程を記事にさせていただくことを通じて、自校の教師同士の対話の有用性を読者にお伝えすることが、本コーナーの趣旨の一つです。

改良会議を振り返って



生徒のために改良できる指導ツールはまだありそうだと感じました。「あの生徒ならどう書くかな」と、生徒の顔を思い浮かべながら先生方と対話することができ、楽しい時間でした。

先生方と話す中で、1人で考えるだけでは得られない気づきがありましたし、私の考えを辻本先生や安部先生が言語化してくださったおかげで取り組むべき課題が明確になりました。

各分掌の先生方から「これってもっとよくなりますかね?」と気軽に相談され、ともに考えることが、主幹教諭としての私の役割だと確信しました。



改良したいのに、どうすべきか分からない……

指導ツールを募集しています!

「改良! 指導ツール ビフォーアフター」では、取材にご協力いただける学校及び取材で検討させていただく「指導ツール」を募集しています。「自校で長年使っているツールを見直したい」「ツールのより効果的な活用法を検討したい」といった、課題意識をお持ちの学校のご応募をお待ちしております。

〈個人情報の取り扱いについて〉をご確認いただき、必要事項①～④をご入力の上、指導ツールを添付して下記のe-mailアドレスにご送信ください。

※送信前に一度、生徒情報が削除されているかご確認ください

- ①学校名・お名前
- ②分掌・ご教職歴
- ③ツールの内容(目的・活用時期・活用方法)
- ④ツールに対する課題意識、改善要望

view21_since-1975@mail.benesse.co.jp

〈個人情報の取り扱いについて〉 この「改良! 指導ツール ビフォーアフター」のツール募集でご提供いただく個人情報は、今後の企画を検討する目的で利用いたします。お客様の意思によりご提供いただけない部分がある場合、手続き・サービス等に支障が生じることがあります。また、商品発送等で個人情報の取り扱いを業務委託しますが、厳重に委託先を管理・指導します。個人情報に関するお問い合わせは、個人情報お問い合わせ窓口(0120-924721、通話料無料、年末年始を除く、9時～21時)にて承ります。(株)ベネッセコーポレーション CPO(個人情報保護最高責任者) 上記をご承諾くださる方はご送信ください。

シートに盛り込み、取り組むべき具体的なアクションを考えさせたいですね。

辻本 具体的なアクションについて考えさせるスペースが増えた分、1年間の活動の振り返りについては、事実関係の整理はコンパクトにして、特に自分が詳しく書きたいと思う項目を生徒に決めさせましょう。その項目についてであれば、身についた力は記述しやすいはず。ただ、本校の教育活動の軸である課題研究については、全員に振り返ってもらいたいですね。

3年生担任との連携強化にもつなげる

河野 振り返りシートが改良されることで、面談でのシートの活用の仕方も変わりそうでしょうか。

辻本 シートに書かれた具体的なアクションは、あくまでも生徒が1人で考えたものですから、当然、

面談を経て修正が入ることもあるでしょう。そう考えると、このシートは面談後、どのように活用すべきだと先生方は考えますか。

安部 これまでは、指導要録作成の資料としての価値を重視していたこともあり、面談で生徒から預かって、そのまま保管していましたが、面談での気づきなどを生徒に書かせて再提出させるのもよいと思いました。

阿部 再提出後、記入内容が気になった生徒に関してはもう一度面談をして、行動の具体化を支援していきたいですね。

辻本 3年生への進級前にどのような課題意識を持って、どのようなアクションをしてきたのかをこのシートを通じて3年生の担任に引き継げば、学年間の指導の連続性も高まりますね。忙しい中でも、ちよつとした工夫で、生徒とのかかわりをさらによいものにするのができそうだと思います。